

【農業土木施工】土層改良に関する記述A～Dのうちには妥当なものが二つある。それらを選んでるのはどれか。

- A. 客土は、作土の厚さが不足しているときや、作土の土性が不適當なときのほか、農業機械の走行性を確保するための地耐力が不足しているときにも、行われることがある。
- B. 作土の土性が不適當なときに行う客土に使用する土質は、土層改良対象地の土質と近いものが望ましく、たとえば砂質土の土地には砂質土を、粘質土の土地には粘質土を客土するのが一般的である。
- C. 表土が耕作に適さない土壤で、下層に耕作に適する肥沃な土層がある場合に、これらに耕起、混和、反転などを行って、作土層厚の増加や作土の理化学性の改良を図る土層改良工法を、混層耕という。
- D. 重粘土層をもつ畑においては、床締めを行い、土壤の透水性・通気性を高める。

- 1. A, B
- 2. A, C
- 3. A, D
- 4. B, C
- 5. C, D

【農業土木施工】フレッシュコンクリートの性質のうち、コンシステンシーに関する次の記述のア～ウの { } からいずれも妥当なものを選んでいるのはどれか。

コンシステンシーは、主としてア { a. 水量の多少
b. 粗骨材の最大寸法 } による軟らかさの程度で示される性質である。コンシステンシーを測定する方法として広く行われている試験がイ { a. スランプ試験
b. 標準貫入試験 } で、試験による測定値はウ { a. cm
b. 回 } で表示する。

	ア	イ	ウ
1.	a	a	a
2.	a	a	b
3.	b	a	a
4.	b	b	a
5.	b	b	b